

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 2 区分
【発行日】 令和 4 年 4 月 19 日 (2022.4.19)

【国際公開番号】 WO2021/024600
【出願番号】 特願 2021-537602 (P2021-537602)
【国際特許分類】

G 0 2 B 3 0 / 1 0 (2 0 2 0 . 0 1)
G 0 9 G 5 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)
G 0 9 G 5 / 3 6 (2 0 0 6 . 0 1)
G 0 9 F 9 / 4 0 (2 0 0 6 . 0 1)
G 0 9 F 9 / 4 6 (2 0 0 6 . 0 1)
H 0 4 N 1 3 / 3 0 2 (2 0 1 8 . 0 1)
H 0 4 N 1 3 / 3 6 1 (2 0 1 8 . 0 1)

10

【 F I 】

G 0 2 B 3 0 / 1 0
G 0 9 G 5 / 0 0 5 1 0 V
G 0 9 G 5 / 3 6 5 1 0 V
G 0 9 F 9 / 4 0 3 0 1
G 0 9 F 9 / 4 6 Z
H 0 4 N 1 3 / 3 0 2
H 0 4 N 1 3 / 3 6 1

20

【手続補正書】
【提出日】 令和 4 年 1 月 12 日 (2022.1.12)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

30

観察者の見る方向によらず不変である非方向性の表示画像を表示する第 1 表示部と、
前記第 1 表示部の外表面と反対側に配置され、前記観察者の見る方向によって異なる方向性を持つ表示画像を表示する第 2 表示部と、
前記第 1 表示部の前記外表面と前記第 2 表示部との間に配置された光学素子アレイと、
前記第 2 表示部を駆動させる駆動部と、を備える、
表示装置。

【請求項 2】

前記第 1 表示部は、前記外表面に加飾が施された加飾層により構成される、
請求項 1 に記載の表示装置。

40

【請求項 3】

前記光学素子アレイは、所定間隔に複数のピンホールが二次元に配列されたピンホールアレイにより構成され、
前記複数のピンホールが前記第 1 表示部の外表面に貫通して形成される、
請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 4】

前記第 1 表示部は、非方向性の前記表示画像を表示する第 1 ディスプレイを有し、
前記第 2 表示部は、複数の画素を有する第 2 ディスプレイを有し、
前記駆動部は、前記第 1 ディスプレイを駆動する第 1 ディスプレイ駆動回路と、前記第 2

50

ディスプレイを駆動する第2ディスプレイ駆動回路と、を有する、
請求項1に記載の表示装置。

【請求項5】

前記第1ディスプレイには、所定間隔に外表面まで光を透過する複数の透光部が形成され、

前記光学素子アレイは、前記複数の透光部が複数のピンホールとして二次元に配列されたピンホールアレイにより構成される、

請求項4に記載の表示装置。

【請求項6】

前記第1ディスプレイは、自発光型の表示デバイス、又は反射型の表示デバイスにより構成される、

請求項4に記載の表示装置。

【請求項7】

前記第2表示部の前記複数の画素の各々の大きさは、前記ピンホールアレイの前記複数のピンホールの間隔よりも小さい、

請求項3に記載の表示装置。

【請求項8】

前記第1ディスプレイの画素の大きさは、前記ピンホールアレイの前記所定間隔よりも小さく、

前記第2ディスプレイの前記複数の画素の各々の大きさは、前記ピンホールアレイの前記所定間隔よりも小さい、

請求項5に記載の表示装置。

【請求項9】

前記駆動部は、前記第2表示部の複数の画素のうち所定の画素を点灯させて前記光学素子アレイを介して出射する光線の向きを制御し、観察者の見る方向によって光の波長と輝度の少なくとも一方が異なる前記表示画像を表示させる、

請求項1に記載の表示装置。

【請求項10】

前記駆動部は、前記第2表示部に、前記観察者の視点において前記第1表示部の前記外表面の位置又は前記外表面より前記観察者の側の空間において視認される前記表示画像を表示させる、

請求項1に記載の表示装置。

【請求項11】

前記第2表示部が表示する前記表示画像は立体像である、

請求項9に記載の表示装置。

10

20

30

40

50